

2年生も残り2か月となりました。今や2年生は、学校の顔としての役割も求められるようになっていきます。これからが3年生にむかっのラストスパートです。

第16回 かほく市立志式

1月31日(金)、かほく市立志式が挙行されました。数え年での15歳(満年齢14歳)の年齢に行われる節目の行事で、かほく市内3中学校の中学2年生が参加しました。かほく市長をはじめ、たくさんの方から期待と激励の言葉をいただき、生徒たちは子どもから大人に近づいているという自覚を持ち始めているようでした。

記念講演会では、「今後の活躍に向けて心がけてほしいこと」と題して、富士通ITプロダクツ事業支援統括部長 高田俊彦さんの講演を聞きました。人事を担当されてきたご自身の経験から「活躍できる人はどんな人か」という内容で、普段の学校生活とリンクしている内容も多かったと思います。さらなる成長につなげていきましょう。



君が代伴奏:
村谷 茉衣子さん



かほく市民憲章唱和:
山名田 創士さん



意見発表:「誰かの変わる理由に」
宮谷 美羽さん



活躍できる人はどんな人か

1. 逃げない
2. まじめに頑張る
3. 悪魔のささやきに打ち勝つ
4. 謙虚に
5. チャレンジしよう

凡事徹底

そして

勉強する習慣をつける
いろいろな人と交流する

進路説明会を行いました そして、講座学習がスタート

1月28日（火）、進路説明会がありました。進路選択の基本的な考え方や生徒の実態などの説明を行い、受験生として、家庭で協力していただきたいことなどをお話しさせていただきました。今後ともご協力のほどお願いします。

そして、立志式の日から、講座学習がスタートしました。いよいよ本格的な受験勉強のスタートです。講座学習は、毎日1枚の講座シートと問題集「整理と対策」に取り組みます。これまでの学習の基礎・基本を再確認し、受験に対応するための力をつけるため、丁寧に確実に取り組んでいきましょう。



道徳 — ダショー・ニシオカ —

農業の指導者としてブータンへ渡り、その後28年もの間「ブータンの農業の父」として力を尽くした主人公・西岡京治さんの話である。相手の国の文化、伝統を認め、自分の信念を相手に納得してもらい、人々と共によりよい暮らしを追い求めていった。

●ブータンの民族衣装を身につける西岡さん



【生徒の学びのワークシートより】

国際協力を行うには、どのような姿勢が必要だろう。

- 一時的ではなく、その国の人々を幸せにしたい、救いたいという気持ち。
- 人々の幸せ、笑顔を思う気持ちや、すぐにあきらめず粘り強く人々に寄り添うことが大切。
- あきらめず、粘り強くほかの国の人々の気持ちを考える、強い気持ちをもつ姿勢が必要。
- 相手の国の、できないことを発展させること。相手の国も、自分の国のように接すること。
- 表面だけの交友ではなく、人々の気持ちに注目して変化させるにはどうするか、という試行錯誤の姿勢。

今後の予定 (詳細は、授業実施予定表をご確認ください)

- 3日（月）全校集会
- 6日（木）漢字テスト
小学生入学説明会
パレット講座④
- 11日（火）建国記念の日
- 12日（水）2年 薬物乱用防止教室
- 13日（木）数学基礎テスト
- 18日（火）県評価問題
諸活動禁止（～20日まで）



- 21日（金）期末テスト
- 23日（日）天皇誕生日
- 25日（火）2年球技大会
- 26日（水）生徒表彰集会
- 27日（木）英単語テスト
パレット講座⑤
- 3月 5日（木）漢字テスト
- 10日（火）実力テスト
- 11日（水）卒業生に学ぶ会
- 13日（金）卒業式